

第 88 回全日本ボクシング選手権大会

成松

通算 8 度目

全日本優勝

巧みな技術で格の違いを見せた成松 2 尉

東京五輪を照準に

11 月 14 日から 18 日までの間、茨城県水戸市桜ノ牧高校常北校で第 88 回全日本ボクシング選手権大会が行われた。体育学校から成松大介 2 等陸尉以下 9 名の選手が出場し、成松 2 尉が優勝、藤田健児 2 等陸曹、秋山佑汰 2 等陸曹、金城大明 3 等陸曹がともに準優勝、坪井智也 2 等陸曹が第 3 位の成果を収めた。

今年 8 月にアジア大会で銅メダルに輝いた成松 2 尉は、バンタム級、ライト級、ライトウェルター級の 3 階級通算 8 度目の優勝をかけ戦いに挑んだ。決勝の相手は体育学校所属の秋山 2 曹。昨年と同じ同門対決の顔合わせとなった。試合は 1 R から白熱した戦いが繰り広げられ、会場は熱気に満ちた。成松は巧みな防御で秋山の攻撃をかわし、反撃に転じポイントを重ねた。結果はポイント 5 対 0 で成松の勝利。通算 8 度目の優勝を掴み全国にその技術の高さと強さを示した。試合後成松は、「昨年と同じ対戦となった決勝だが、お互いにレベルが上がってきている。勝てたのは嬉しいが、相手を圧倒して勝てるようになりたい。」と振り返った。また、「これからも勝ち続けられる技術・人格を備えていきたい。」と語った。

坪井、馬場 金城

連覇逃す



積極的な攻撃で攻める坪井 2 曹 (右)

昨年のライトフライ級全日本チャンピオン坪井は一つ階級を上げフライ級での参戦。初戦から順調に勝ち上がり、迎えた準決勝の対戦相手は田中亮明選手 (中京学院大学附属中京高等学校【教】)。1 R から積極的に攻撃するも惜しくも判定 2 対 3 で敗れ第 3 位の結果となった。

一方昨年フライ級チャンピオンの馬場龍成 2 等陸曹は、連覇を目指すも準々決勝で坂本達也選手 (近大) に敗れベスト 8 にとどまった。

ウェルター級 3 連覇を狙う金城 3 曹は、決勝で岡澤セオン選手 (鹿児島県体育協会) に惜しくも敗れ、大会 3 連覇を逃した。



シャープで鋭く攻撃する馬場 2 曹 (右)



力強い攻撃で攻める金城 3 曹 (右)

藤田・秋山 惜しくも 2 位



惜しくも決勝で敗れ準優勝の藤田 2 曹 (上写真左) と秋山 2 曹 (下写真左)

ライト級とバンタム級で通算 3 度の優勝経験を持つ藤田 2 曹が、迎えた決勝はリオ五輪出場経験を持つ森坂嵐選手 (東京農大) との対戦。試合は激しく打ち合う攻防戦となったが、判定は 3 対 2 で森坂選手に。惜しくも準優勝の結果となった。

また、秋山 2 曹は、決勝で成松 2 尉に敗れたものの、準決勝では富田真広選手 (中央大学) との戦いを果敢な攻撃でポイント 5 対 0 で勝利し、ポテンシャルの高さを見せた。

総合成績 (メダル以上)

競技階級	順位	自衛隊階級	氏名	出身
フライ級 (49kg~52kg)	銅	第 3 位	2 等陸曹 坪井 智也	静岡県
ライト級 (56kg~60kg)	銀	準優勝	2 等陸曹 藤田 健児	岡山県
ライトウェルター級 (60kg~64kg)	金	優勝・技能賞	2 等陸尉 成松 大介	熊本県
ライトウェルター級 (60kg~64kg)	銀	準優勝	2 等陸曹 秋山 佑汰	大阪府
ウェルター級 (64kg~69kg)	銀	準優勝	3 等陸曹 金城 大明	沖縄県

